

2019年4月5日

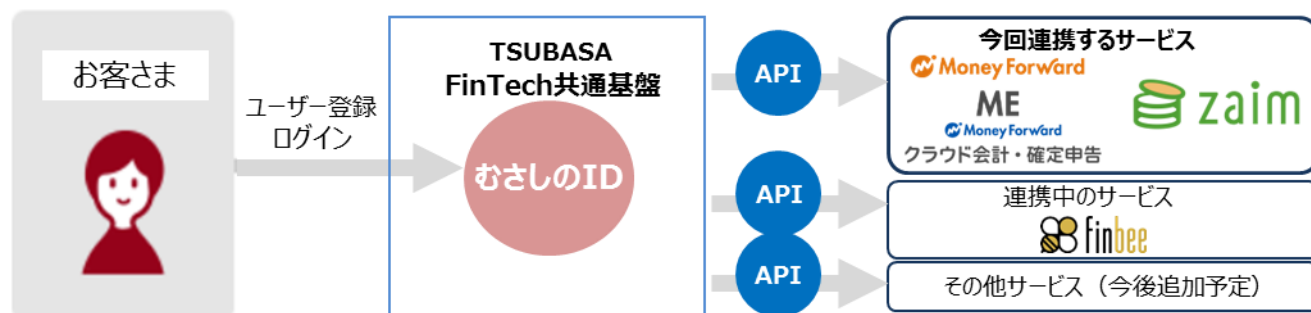
「TSUBASA FinTech 共通基盤」による フィンテック企業2社との API 連携の開始について

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は「TSUBASA FinTech 共通基盤」※1を通じ、2019年4月8日より株式会社マネーフォワード（代表取締役社長 CEO 辻 庸介）が提供するお金の見える化サービス「マネーフォワード ME」およびクラウド会計ソフト「マネーフォワードクラウド 会計・確定申告」、2019年4月22日より株式会社 Zaim（代表取締役 閑歳 孝子）が提供するオンライン家計簿サービス「Zaim」との API 連携を開始いたしますので、お知らせします。

個人のお客さまがこれらのサービスをご利用するにはインターネットバンキングの契約が必要でしたが、今後は事前に登録いただく「むさしの ID」※2によりお客さまの認証を行いますので、インターネットバンキング契約のない方でもご利用いただけるようになり、多くのお客さまにサービスをご利用いただけます。

当行では、今後もお客さまの多様なニーズにお応えする最適な商品・サービスの提供に向け、フィンテックへの取組みを強化してまいります。

<TSUBASA FinTech 共通基盤を通じたフィンテックサービスご利用のイメージ>



※1 当行が2019年3月に参加した「TSUBASA アライアンス」の参加行（千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、北越銀行）とT&Iイノベーションセンターが2018年に共同構築した、フィンテック企業等の外部事業者が同一の仕様で接続できるオープンAPIのプラットフォームのことで。

※2 インターネットで提供されるサービスを、共通のIDでご利用いただく仕組みです。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
営業統括部 フィンテック推進室 磯中・野崎
TEL (048) 641-6111 (代表) 内線 2401、2408

○お金の見える化サービス「マネーフォワード ME」

「マネーフォワード ME」は、銀行口座やクレジットカードを登録すると、家計簿の自動作成や複数口座をまとめた資産管理が出来るサービスです。API 接続することにより、当行の口座情報を安全かつシームレスに「マネーフォワード ME」に連携することができます。

ご利用イメージ

マネーフォワードMEの画面上で銀行との連携画面に進み武蔵野銀行を選びます。

むさしのIDでログインし口座情報連携に同意します

保存すると連携完了です

○オンライン家計簿サービス「Zaim」

「Zaim」は、日本最大級のオンライン個人向け家計簿サービスです。レシートをスマートフォンで撮影するだけで金額と品目を自動入力できるほか、銀行口座やクレジットカードを連携することで、自動で家計簿作成、複数口座をまとめた資産管理ができます。API 接続することにより、当行の口座情報を安全かつシームレスに「Zaim」に連携することができます。

ご利用イメージ

Zaimの画面上で銀行との連携画面に進み武蔵野銀行を選びます。

むさしのIDでログインし口座情報連携に同意します

保存すると連携完了です